

# 校長室の窓から **No.48**

☆☆☆☆☆五城目町立五城目小学校 校長室だより 平成29年5月9日(火)

## 赤青黄三つの光 重なり合って 白く輝け! ～13日の大運動会。皆様の声援をよろしくお願いたします!～

○創立(143周年)  
明治7年5月7日  
○児童数 280名  
(H29.5.1日現在)  
○教職員数 44名  
文責:校長 戸部 裕隆



※スマートフォン  
からもご覧に  
なることがで  
きます。

今年の大運動会は、曜日の並びの関係で本町地区の祭典が20日・21日になったことから、10年ぶりに祭典一週間前の13日(土)の開催となりました。例年に比べて一週間ほど早く、全体練習にかかる物理的な時間の確保が難しいところがありましたが、全校児童280名が一つになって活動する最初の大きな学校行事となります。

当日は赤・青・黄の三色に分かれての競技となりますが、今年もまた児童会ですばらしいテーマを考えてくれました。最高学年の6年生が各色のリーダーとなって応援や行進の練習等を行っていますが、どの色も6年生と5年生が下級生をよく引っ張っています。てきぱきとすばやく行動する6年生の頼もしさ、高学年生としての自覚をもって6年生とともに運動会を運営しているとする5年生の意識の高まりを感じます。4年生3年生、そして2年生1年生も日を迫る毎に大運動会への意欲が増えています。



5/8全校体育 スポーツ委員によるラジオ体操の練習

五小っ子各色の熱い思い、そしてやり抜く気持ちを全面に出して、これまでにないパワフルで笑顔あふれる行進や応援、あきらめずに最後まで団結してやり抜く姿を皆様の前で堂々と披露してくれるものと大いに期待しているところです。

ところで、運動会をはじめとする学校行事は何のために実施しているのでしょうか。子どもたちの体力の向上を図ることはもちろんですが、その一番のねらいは、子どもたちの望ましい集団活動を通して集団への所属感や仲間意識などの人間形成を図るところにあります。子どもたちの生き生きとして輝いている姿、高学年生は堂々と引きしまっている姿をお目につけられるよう、各学年の発達段階に合わせた練習を行っています。また、運動会に向けての練習は防災教育の視点でも重要な学習となります。放送やリーダーの指示で短時間に集合・整列し、どこにでもすぐに移動ができるような力、自分の体を自分でしっかりと動かす力、そして集団の中で折り合いを付けて規律ある行動ができる力など、そうした力が身に付いていれば、いざ何かあったときでも対応する「生き抜く力」につながるものと考えています。

【運動会など学校行事の一番のねらい】 \*体育の技術的なねらいを除いて\*

◎子どもたちの望ましい集団活動を通して集団への所属感や仲間意識などの人間形成を図る。

### 視点①

規範・規律

色別や学年の集団内で規律ある行動ができる。

### 視点②

意欲・根気強さ

進んで参加し、粘り強く最後までやり抜こうとする。

### 視点③

責任感・使命感

責任をもって係の仕事をつとめることができる。

### 視点④

協調性・寛容性

友達と助け合ったり、勝敗を素直に認めたりすることができる。

子どもにとっては、各家庭での励ましが何よりの栄養剤となります。どうかお子様の気持ちに寄り添って温かい言葉をかけてくださるようお願いいたします。運動会当日はご家族・ご親戚・ご近所お誘い合わせでお出でください。皆様のご来場を心待ちにしております。